

会議のトピックス(V)

2015年日本原子力学会秋の大会
「シグマ」特別専門委員会活動報告と核データ研究の将来展望
2015年9月9日(水) 13:00~14:30 静岡大学 静岡キャンパス

(1) 平成 25、26 年度のシグマ特別専門委員会の活動報告

九州大学 大学院総合理工学研究院

渡辺 幸信

watanabe@aces.kyushu-u.ac.jp

1. はじめに

シグマ特別専門委員会は 1963 年(昭和 38 年)に設立され、2013 年(平成 24 年)に 50 周年を迎え、現在に至っている。図 1 に我国の核データ研究活動における連携関係を模式的に示している。本委員会は核データ部会と協同し、他学協会員の意見も取り入れながら、①内外の学協会等と連携した我が国の核データに係る人材育成を含む学術的活動方

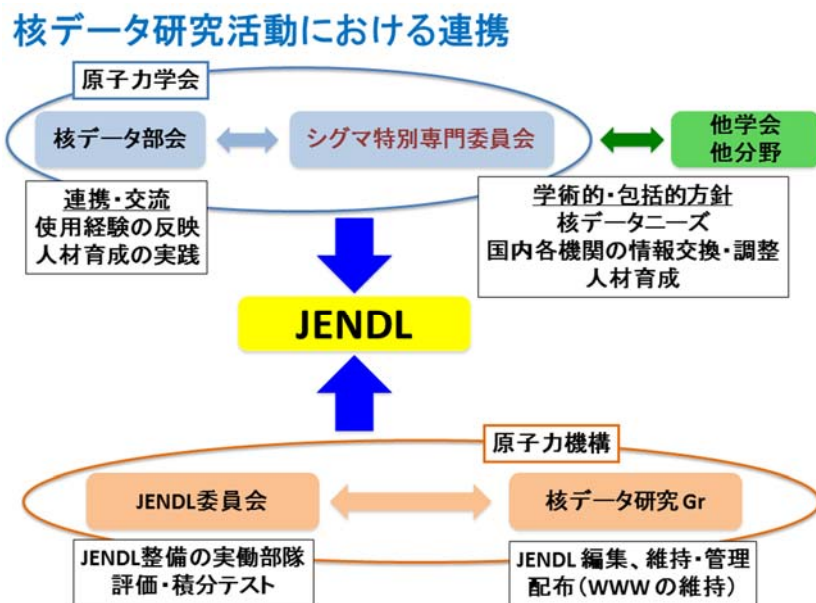


図 1 我国の核データ研究活動における連携関係図 (提供 : JAEA 深堀智生氏)

針の検討、②新しい核データニーズの取り纏め、③その他の核データ関連活動を柱にした委員会活動を展開している。本総合講演・報告は、過去2年間（平成25,26年度）の委員会活動の経緯とその成果を学会員に報告し、我が国における核データ研究戦略を検討・議論する場を設ける目的で企画された。以下、過去2年間（平成25,26年度）の本委員会活動の経緯とその成果を述べる。

2. 本委員会活動の概要

平成25,26年度は産学官31名の委員で構成され、年1回程度の委員会開催とメール審議で委員会運営を行った。平成23年度に設置した2つのワーキンググループ（核データ教科書作成WGおよび将来検討WG）の活動を継続して行い、今後の核データ研究活動に係わる大型測定装置・施設の必要性への提言等、学術的活動を行うとともに人材育成のための核データ分野の教科書編集方針案（目次案）を策定した。平成26年度末に次期主査（任期：平成27,28年度の2年間）の選挙を行い、千葉敏教授（東工大・原子炉研）が選出された。

3. 学会での活動成果公表状況

下記のとおり、核データ部会や炉物理部会合同で総合講演・報告および企画セッションを行った。

- 1) 平成25年9月3日（火） 八戸工業大学
総合講演・報告（シグマ特別専門委員会）
「シグマ特別専門委員会活動報告と核データの新規ニーズ開拓」
- 2) 平成26年9月10日（木） 京都大学 吉田キャンパス
核データ部会・シグマ特別専門委員会合同企画セッション
「核データ分野における大型研究開発プロジェクトの現状と展望」
- 3) 平成27年3月21日（日） 茨城大学 日立キャンパス
炉物理部会・核データ部会・シグマ特別専門委員会合同企画セッション
「研究炉や臨界実験装置の将来計画と今後のあり方」

4. 核データニュースの刊行

核データ部会と協力して2年間で合計6回の核データニュース（105号～110号）を刊行した。上記3の総合講演や企画セッションの講演内容についての記事も掲載されている。